

令和6年度 医療・介護多職種連携シンポジウム ～多職種が連携できる場面と職種の動き～

医療・介護連携が重要とされる時代です。今回はあえて医師・看護師、介護支援専門員や介護福祉士ではなく、令和6年改定で大注目のリハ・口腔・栄養の分野と在宅と医療をつなぐ連携室に着目してシンポジウムを開催いたします。

皆様の支援している方や家族へ、それぞれの職種がどのような動きをし、またどのような事ができるかを知る大変貴重な機会です。是非お誘いあわせの上、医療・介護で働く方々の参加をお待ちしております。

日時: 令和6年11月2日(土) 13:30～16:30(13:00 受付)

場所: SS プラザせんだい:301～303 会議室 (※オンライン参加も可能)

対象: 医療従事者・介護サービス従事者
介護支援専門員:川薩支部会員・非会員(参加費有)

内容: 多職種が連携できる場面と職種の動き

第1部 シンポジウム及びディスカッション、同職種間グループワーク

【シンポジスト】 米盛 康二郎 氏 (卓翔会記念病院・社会福祉士)
江口 晶子 氏 (済生会川内病院・管理栄養士)
加治屋 大輔 氏 (新門整形外科・理学療法士)
川原 宜子 氏 (医師会在宅医療支援センター・歯科衛生士)
【座長】 古城 裕喜 氏 (鹿児島県介護支援専門員協議会川薩支部)

第2部 多職種グループワーク・顔の見える関係作り

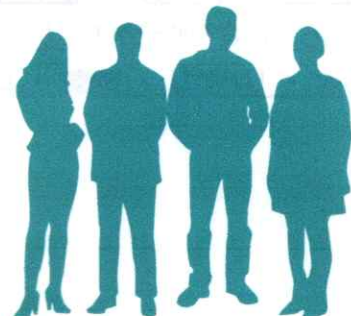
【テーマ】 コロナ禍を超えての制度改定、皆さんの周りで「連携」はどのように変わったか
病院完結型医療から地域完結型医療へ
我々が取り組む事、その課題

申込先: 裏面より参照

申込〆切: 10月25日(金)まで

参加費: 医療従事者・介護サービス従事者等(無料)

介護支援専門員:川薩支部会員(無料)、非会員:500円



主催:鹿児島県介護支援専門員協議会 川薩支部

令和6年度 医療・介護多職種連携シンポジウム参加申込書

申込〆切:令和6年10月25日(金)まで

FAX 申し込み : 0996-29-5910 (送信票不要)

メール申し込み : sennsatucm.kennsyu777@outlook.jp

介護支援専門員協議会川薩支部事務局 卓翔会記念病院 田代 行

機関名:	参加代表者:
電話:	オンライン参加希望者は上記メールアドレスでの申し込みも可能です。

※所属機関のパンフレットや情報発信したいイベントのチラシなどございましたらご持参ください。

受付の資料スペースにて発信させていただきます。参加時スタッフへお声かけください。

職種	参加者氏名	参加(どちらかに〇を)
		会場・オンライン
		会場・オンライン
		会場・オンライン
		会場・オンライン

日頃の業務で悩んでいること・他の専門職への疑問や質問を聞かせてください。

例:リハマネ加算を取りたいがリハ会議の段取りをどうしているのか。

明らかに食物残渣があるが本人・家族が気にしていないため受診に繋がられない。等

(MSW・リハビリ・栄養・口腔)※どのシンポジストへの質問か〇で囲って下さい。

[]



問い合わせ先:新門整形外科 大山 0996-29-5663 森園病院 上蘭 090-5747-6080

主催:鹿児島県介護支援専門員協議会 川薩支部